

〈目次〉

| | | |
|---|-------------------------|-----------|
| マルブランシュとバークリ —Vision en Dieu を回って— | 依田 義右..... | 4 |
| ハンナ・アーレントが言わなかったこと | 伊藤 正博..... | 17 |
| 絵画 WingMakers の意味と神話的イメージについて —Part2— | 新井 基祐 | 27 |
| ウイリアム モリス紀行—コッツウオールド地方とその周辺地域— | 斎藤 公江..... | 48 |
| マックス・ビルとの対話 | 菅原 二郎..... | 63 |
| デザイン社会学・デザイン環境論ケーススタディ—10 デザインの半世紀 20 世紀後半の「豊かな社会」を支えたデザインとデザイナーの心の軌跡 | 西尾 直..... | 72 |
| DIGITAL WORKS PROJECT —DVD デジタルコンテンツの制作— | 太田 明仁..... | 84 |
| 景観デザインにおけるスケールとそれらの領域 フランス・ニース ロスチャイルド美術館内日本庭園—築造報告— | 福田 肅..... 福原 成雄..... | 93 106 |
| 葛城山麓に於ける地域フローラと植生環境—ある山里の景観と植物— | 池田 光恵..... | 122 |
| 写真が芸術になるとき (2) | 大伏 雅一..... | 133 |
| 美空ひばりの映画『青空天使』(1950 年) について..... | 太田 米男..... | 143 |
| BREGENZER FESTSPIELE 2001-2002 —湖上舞台オペラ「ラ・ボエーム」の舞台装置のあり方— | 堀田 充規..... | 158 |

CONTENTS

| | | |
|---|------------------------|-----|
| Malebranche and Berkeley: On the Vision in God | Yoshisuke Yoda | 4 |
| What Hannah Arendt Failed to Point Out | Masahiro Ito | 17 |
| Meaning and Mythological Imagery in WingMakers' Paintings Part 2 : <i>Chamber 17 Painting</i> | Motosuke Arai | 27 |
| Journey to William Morris Country: Kelmscott Manor and Its Surrounding Area..... | Kimie Saito | 48 |
| Dialogue with Max Bill..... | Jiro Sugawara | 63 |
| The Scenery of Designership in the Latter Half of the 20th Century | Tyoc Nishio | 72 |
| Digital Works Project..... | Akihito Ota | 84 |
| A Scales in the Landscape Design..... | Osamu Fukuda | 93 |
| Report for the Japanese Garden Construction Project in Villa Ephrussi de Rothschild in Nice, France..... | Masao Fukuhara | 106 |
| The Flora and the Environment at the Foot of Mt. Katsuragi: the View of One Mountain Village and Plants..... | Mitsue Ikeda | 122 |
| What Makes Photography Belong to Art?..... | Masakazu Inubuse | 133 |
| Hibari Misora's <i>Aozora Tenshi (An Angel in the Blue Sky; 1950)</i> | Yoneo Ota | 143 |
| Bregenz Festival: The Style of Scenery of <i>La Boheme on the Floating Stage</i> | Atsumi Horita | 158 |

《筆者及び表紙作成者紹介》

- 新井 基祐 大阪芸術大学教授 (英米文学)
池田 光恵 大阪芸術大学助教授 (映像ディスプレイ)
伊藤 正博 大阪芸術大学助教授 (倫理学)
犬伏 雅一 大阪芸術大学助教授 (映像論)
江尻 幹子 大阪芸術大学助教授 (ヴィジュアルデザイン)
太田 明仁 大阪芸術大学助教授 (デザイン・情報デザイン)
太田 米男 大阪芸術大学教授 (映画)
クストファー・ピーター・ロウ 大阪芸術大学非常勤講師 (英米文化事情)
斎藤 公江 大阪芸術大学助教授 (英文学)
菅原 二郎 大阪芸術大学教授 (彫刻)
西尾 直 大阪芸術大学教授 (デザイン社会学・グラフィックデザイン)
福田 肅 大阪芸術大学教授 (スペースデザイン)
福原 成雄 大阪芸術大学助教授 (造園・環境デザイン)
堀田 充規 大阪芸術大学講師 (舞台芸術)
依田 義右 大阪芸術大学教授 (近世哲学史)

《編集後記》

中島貞夫

大阪芸術大学“藝術”26号が刊行の運びとなりました。

4半世紀に及ぶ時間の中で、前任者達が理想の形を求め試行錯誤と努力を重ねてこられた後を継ぎ、藝術研究所が編集の責任を仰せつかって3年、その任の重さと難しさをしみじみと感じながら今回も作業に携わりました。と申しても真に御苦勞を願ったのは、紀要実務要員の諸先生方で、改めてその勞に感謝の意を表させていただきます。

総合芸術大学である本学の紀要では、省察や考察の対象が多ジャンルに渡りかつ論考は個別的です。その多様性こそが本学紀要の特色の一つではありますが、一方で実作者の多い本学ではその成果・作品を発表する場を求められています。残念ながら“藝術”誌上では、その任を十分に果たすことが出来ず、研究者の論考が主とならざるを得ません。ただそれでも本誌上での発表を希望なさる方々には、ジャンルによる限定はあるものの、図版による誌上発表という形態をとることも考えられます。その場合、作者による自作品への自己言及が不可欠です。

研究者の論考と実作者による自作品への自己言及、もしこの車輪がそろえば、それが相互に及ぼす影響も多大ですし、同時に本学紀要の魅力になるものと考えられます。

今後とも“藝術”を内容豊かな本学紀要とするため、皆様の暖かい御協力を賜りたいと存じます。

大阪芸術大学 紀要〈藝術〉26

平成15年12月1日発行

発行／大阪芸術大学

大阪府南河内郡河南町 TEL0721 - 93 - 3781

編集／大阪芸術大学藝術研究所運営委員会

実務委員 デザイン学科・助教授 江尻 幹子

文芸学科・助教授 笹谷 純雄

芸術計画学科・教授 豊原 正智

音楽学科・助教授 樋口 光治

印刷／日本写真印刷株式会社